





ります。校長先生の怒りを抑える〇秒ルールではありませんが、頭の隅にこの契約があれば、怒りの表出の前に落ち着いた瞬間が挟まれるのです。自然な感情を抑えることから「悪魔の契約」とも呼ばれています(嘘です)が、期間限定のこの契約効果のほどは絶大(本当)です。

73期の修学旅行は、穏やかな楽しい旅行でした。実は、修学旅行前日にクラスのみんなと約束口約束にも法的拘束力があります(交わりました)ました。私も大きな声を出さないから皆もそうしないか?と。クラスの皆が笑って聞いてくれたので契約成立でした。高校3年生は受験のことばかり取り沙汰されます。本校では3年生になって人が変わったように勉強に打ち込む先輩たちを今まで見てきました。それは素晴らしいことですが、さすがに受験をクレーン車に感じる余裕がなくなったり、体調を崩したりする人も出ていました。勉強はすぐに結果が出ないかもしれないが、続けていければ必ず向上します。努力は人を裏切らないことを信じて、じっくりと体力を養って下さい。



2年生の後半、君たちは主体的に行事に取り組むようになったと思います。修学旅行は勿論、ピリオパトルも素晴らしいです。合唱コンクールの日、北野田のホールではリハーサル時から他クラスを讃えて拍手が湧きおこっていました。本番で皆が歌う姿には、白状するほどのクラスの時も涙が止まりませんでした。

3年生になっても、穏かたむきな皆、いて下さい。とげとげしく他人にあたるのは自分を傷ける事にもなります。一人で頑張る訳ではありません。皆、契約しませんか。

## 深める……とは

一年前のマラソン大会の帰り、阪堺電車に乗った。思わず「素敵なマフラーだね。自分編んだの?」と声をかけると、その生徒のお祖母さんの手編みであることが分かった。そのマフラーには、お祖母さんのネームタグが付けてあった。六日後、その生徒が更に素敵なマフラーを持って部屋にやってきました。「お祖母ちゃんがお祖母さんとお父さんが編んでくれました。」と言った手渡されたマフラーは、グレーのリング型のもので、私の好きなマフラーにマッチしていた。



阪堺電車の中の会話、深まって、会ったことのないその生徒のお祖母さんと私が繋がった瞬間だった。そのマフラーをして、とても温かく穏やかな気分になれる。「会話を深める……これ

は学びを深める」と同じではなからうか。

## 「学びを深める」とは、如何なるものか。

君たちは、授業、補習、講習、様々な知識を教員から学んでいる。勿論知識だけでなく、何故?というのか、如何にして?という疑問を抱き、それを各自で解決する。ここによって学びを深めている。部活動の練習も同じである。教えられたことを繰り返し努力することで、技術が自分のものとなる。

## 次は、学ぶ意識を深めることが大切になる。

「学ぶ意識を深める」というのは、「ある物事、分野をより詳しく、学ぼうとする意識(意欲)を高める」とを意味する。所謂探究活動である。自身が興味関心を抱いた分野を追究することである。興味関心を持つ、その活動自体が楽しく身に付く度合いも全く違ってくる。そして、次は学ぶ範囲を深めること繋がる。学ぶ範囲を深めるというものは、既に学習したところのある分野、物事の範囲をより広げていくことを意味する。例えば、流体力学を専攻していた学生が、学ぶ範囲を深めるのであれば、それに関する物理学の周辺分野にまで学ぶ範囲を広げ、より正確な深い理解を求めようとなる。更に、知識を深める「理解を深める」「知見を深める」「友情を深める」。

愛情を深めるなど、深めるものはまたまた沢山ある。君たちは、まず何を深めますか?!

まず自分の進みたい道をしっかりと決めること。そして一旦決めたら、最後まで諦めないこと。勿論途中で気持ちが変化するので変更はありだけれど、絶対に何があってもやめて行けば出来るから。その時大切なのは、続けるということ。人より進み具合が遅くても、成果が見えてくるのに時間がかかっても、「もうダメ! 私……」とは思わないで、続けてさえいれば必ず自分で満足できる結果が出る。だから、諦めないで。

## 諦めないで

身を決めること。そして一旦決めたら、最後まで諦めないこと。勿論途中で気持ちが変化するので変更はありだけれど、絶対に何があってもやめて行けば出来るから。その時大切なのは、続けるということ。人より進み具合が遅くても、成果が見えてくるのに時間がかかっても、「もうダメ! 私……」とは思わないで、続けてさえいれば必ず自分で満足できる結果が出る。だから、諦めないで。

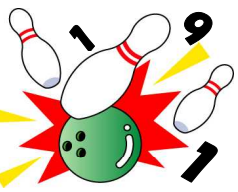
今から約40年前、渋谷の喫茶店に友人と2人で行きまして、そいつがカフェオレを頼んでいたので頼みました。その店のカフェオレは、ミルクとコーヒーを高い位置から注ぎ込む形式で、びっくりにしている俺を見ながらそいつは笑ってました。それからそれは、一番の友達になりました。酒を飲んだ3次会の後朝まで2人だけで、ボーリングを何ゲームもした(自分のハイスコアの191はこの時の記録)。土曜の深夜に俺のアパートに来

## 生きることは絶対に楽しい

今から約40年前、渋谷の喫茶店に友人と2人で行きまして、そいつがカフェオレを頼んでいたので頼みました。その店のカフェオレは、ミルクとコーヒーを高い位置から注ぎ込む形式で、びっくりにしている俺を見ながらそいつは笑ってました。それからそれは、一番の友達になりました。酒を飲んだ3次会の後朝まで2人だけで、ボーリングを何ゲームもした(自分のハイスコアの191はこの時の記録)。土曜の深夜に俺のアパートに来



て、「友達が車を貸してくれたから、湘南の朝の海が見たい」と言いながら、2人でギリギリのガソリン代をもって深夜ドライブをしたこと(結局、お金が足りなくてコーヒーも飲めず)。大学時代の遊びに関することには、ほぼそいつが絡んでいた。卒業してそいつは埼玉で家業を継ぎ、距離も600km離れ、年留だけか2人の関係となつてしまつても、いつか会えるやろと考えていました。卒業後20数年経たつたある日、そいつの訃報が届きました。仕事のプレッシャーから鬱病になつての自殺でした。俺の知っているそいつは、男前、運動能力が高く、誰からも慕われる性格、酒が強いという男でした。鬱病や自殺からは最も遠い位置にいた人物だと思つていました。本校で12年間勤務しました。10年間担任をさせてもらいました。最後のクラスが2年3組でした。君たちは迷惑だったでしょうが、君たちの担任ができて良かったのです。クラスやクラブで泉陽の生徒と共々過ごした12年間という時間は、本当に幸せな時間でした。この春、そいつの墓参りに行き報告させていただきます。「俺は、お前の分も幸せな時間を生きてきたよ!」



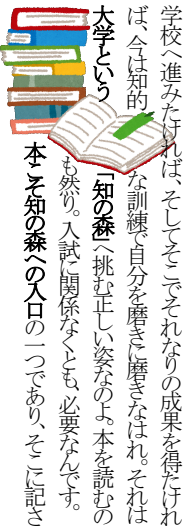
「生きることは絶対に楽しい」と。君たちは、まず何を深めますか?!

## 知の森へ挑む

受験の先に何がある? 上級学校やね。例えば、知の森へ挑む。大概の人はそこへ進む。何の為に? 就職? 資格? いえいえ、それは結果。その前に、自分が面白い、興味あるものを知りたい。深めたい、というものが、対象について究める事。それも知的にね。それが進学の目的。ほなややつてる事は何? そこへ入る為だけの勉強? 無論それも必要。せめて、それだけではない。大学に行ったら分かるけど、今ややつてる事、この時の為の基礎訓練。知的に、論理的に考える。追及する為の基礎訓練。知的に、論理的に考える。それこそ専門的な勉強したなら、センスやらでは勝負しなきゃ。知的に組み立てて追及を求められるよ、今やつてる文法も微分積分も、モルの計算も。遺伝も、英作にも和訳しても、全て知的に論理的にものを考える訓練の一つ。直接受験に関係しませんが、まじ、まじ、上級学校へ進みたいければ、そしてそこでそれなりの成果を得たいければ、今は知的訓練、自分を磨き、磨きなはれ、それは「知の森へ挑む止し、姿なよ、本を読む」も然り。入試、関係なくとも必要な事です。

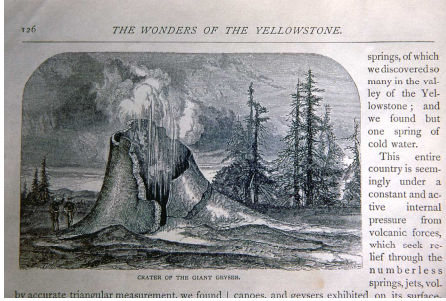
知の森へ挑む止し、姿なよ、本を読む。本、その森の入口の一つであり、そこに記さ

れた世界が具体的に、上級学校の中に間違いなくある。自分の求める知的な世界に向かつて、弛まず挑んで行こう。緩むたらあかんぜよ。人生の後半の後半、毎日何が楽しいか? それはいろんな事を知って、知的な世界に遊ぶこと。旺盛な好奇心と共々に、これ楽しい人生がある。今の勉強は、老後にも役立つ。若し、時分に貯めたものは、いつか己を助け、愉しませてくれる。ヨリヨリどう対処したらええか、知的に探究してみようぜ。



先月末で定年退職を迎え、今年(2023)は週3日の再任用ですが、今まで同様の授業を担当します。

「Spring」の語源は、急に動く、飛び出る、水が湧き出るを表し、それが「春」(季節の始まり)↑源泉(「バネ」)源泉(湧き出す)「飛ぶ」ように動き出すという意味になったそうです。泉陽の最後の一年が皆さんにとって充実した時間になることを願っています。来春各自の進路に向けて、飛ぶように動き出す姿を見ることが楽しみです。



Spring has come.

「知の森へ挑む止し、姿なよ、本を読む」も然り。入試、関係なくとも必要な事です。

「知の森へ挑む止し、姿なよ、本を読む」も然り。入試、関係なくとも必要な事です。

